

人工膝関節置換術(UKA)を受けられる

患者用クリニカルパス P1 / 3

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)























様へ

月日	月 日	月 日	月 日
経過	治療前日 (入院日)	当日術前	当日術後
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けられる		○術後合併症を起こさない ○手術後の苦痛が最小限である ○血栓予防に努めることができる ○リハビリが開始できる ○介助で車イスに移乗できる
検査	身長、体重測定		採血
食事	・夕食後絶食、21時以後絶飲食 ・経口補水液は、麻酔科の指示で服用	絶飲食	朝より食事再開
	朝食は自宅		
処置・観察	リストバンドを装着します(退院日まで) 弾性ストッキングのサイズを測定し、お渡しします 手術部位のマーキングをします	点滴の針を留置します 時間になれば看護師が手術室にご案内します	手術後、以下の挿入物、装着物があります ・酸素マスク → 取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → 点滴終了後、抜去します ・背中のチューブ → 抜去します (鎮痛剤) ・創部の管(ドレーン) → 抜去します ・創部クーリング → 取り外します ・尿道カテーテル → 抜去します ・フットポンプ → 取り外します (血栓予防) 創部を観察、処置を行います リハビリ後、創部をクーリングします
	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります		
点滴・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡お渡しください	手術室で点滴を開始します(手術が午後の場合は、病棟で点滴を開始します)	以下の点滴を行います ・持続点滴 → ・抗菌薬 → ・鎮痛剤 → 以下を内服します ・消炎鎮痛剤 → ・胃薬 → ・血栓予防薬 →
行動・リハビリ	シャワー浴、洗髪をします 以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し		午前中全身清拭し、手術着からパジャマに着替えます 室内トイレへは看護師が付き添います
	制限はありません 手術前の運動機能を評価します	朝までベッド上安静です	療法士付き添いのもと、歩行者を使用しリハビリを開始します (安静度やリハビリの進行には個人差があります)
説明	医師・麻酔科医より(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について 病棟・手術室看護師より説明 ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について 薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について	医師より説明 ご家族に ・手術結果について 看護師より説明 ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について ・痛み止めの使用方法について	医師医より説明 ご本人に ・手術結果について 看護師より ・十分な水分摂取について

*** 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。**

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い、計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

月日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	～ 月 日	～ 月 日
経過	術後 2～3 日目	術後 4～5 日目	術後 6～7 日目	～術後 14 日目	～術後 17 日目 (退院日)
目標	<p>○後合併症を起こさない ○手術後の苦痛が最小限である ○血栓予防に努めることができる ○車イスで移動ができる → 歩行器で歩行できる (見守り → 自立) → 一本杖歩行ができる (病棟 → 院内)</p> <p>○疼痛がコントロールできる ○身の回りのことが自分で行える</p> <p>○階段昇降ができる ○日常生活の注意点が理解でき実施できる</p>				
検査	<p> 採血 レントゲン撮影</p>				
食事	<p>退院日は朝食のみ</p> <p>            </p>				
処置・観察	<p> 創部を観察、処置を行います → リハビリ後は、創部をクーリングします →</p> <p> 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります</p>				
点滴・内服	<p> 以下を内服します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消炎鎮痛剤 → ・胃薬 → ・血栓予防薬 → 				
行動・リハビリ	<p> 創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します (週 3 回、病棟毎で日が異なります)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弾性ストッキングを装着します ・リハビリ後は、創部をクーリングします <p> 療法士付き添いのもと、リハビリを継続します (安静度やリハビリの進行には個人差があります)</p>				
説明	<p> 医師より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院後の治療計画、療養上の留意点について ・退院後のリハビリについて <p> 看護師より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院後の療養生活について (退院療養計画をお渡しします) <p> 療法士より指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院に向けて 				

